

弓削高等学校学生寮「ゆめしま寮」 財源内訳

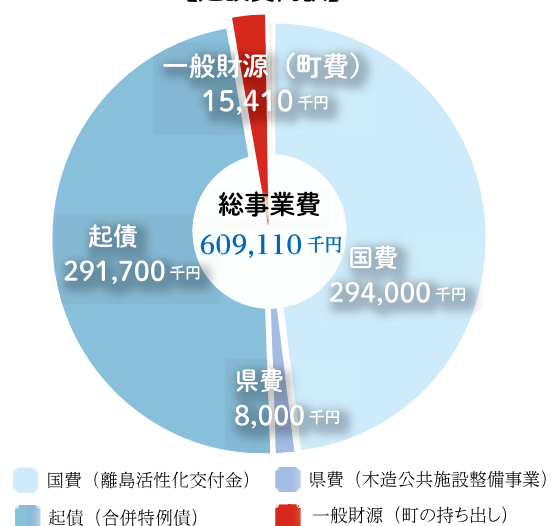
【建設費】 ※令和5年度当初予算ベース

●総事業費（工事費、備品、委託料含む）	609,110 千円
・国費（離島活性化交付金）	294,000 千円
・県費（木造公共施設整備事業）	8,000 千円
・起債（合併特例債）※	291,700 千円
※ 70%が後年度交付税として国から町に交付されます。	
・一般財源（町の持ち出し）	15,410 千円

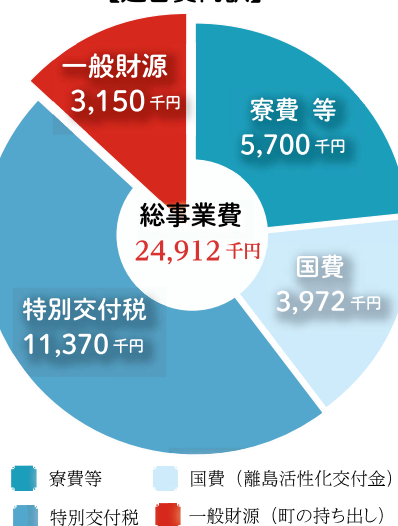
【運営費】 ※令和6年度計画

●総事業費	24,192 千円
・寮費等	5,700 千円
・国費（離島活性化交付金）	3,972 千円
・特別交付税	11,370 千円
・一般財源（町の持ち出し）	3,150 千円
※ 3年目には、一般財源が 1,249 千円	

【建設費内訳】



【運営費内訳】



《 着工前（令和5年7月時点） 》



《 着工後（令和5年11月時点） 》

弓削高等学校 学生寮の名称募集 「ゆめしま寮」に決定



「ゆめしま寮」命名者目録授与式について

弓削高等学校学生寮の名称を募集したところ、全国から109作品もの応募があり、厳選なる審査の結果「ゆめしま寮」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

10月27日（金）には、「ゆめしま寮」命名者に選ばれた村上碧さん（弓削高校3年生）に記念品を贈呈しました。



町から高校がなくなる。

愛媛県は、令和2年度に愛媛県県立学校振興計画検討委員会を設立し、令和5年度から実施する「愛媛県県立学校振興計画」の策定に取り掛かりました。

上島町はその原案が、弓削高校入学生募集停止（いわゆる廃校）につながるものと捉え、愛媛県が主催する県内各地域の課題および意見等を徴収することを目的とした今治・越智地域協議会において、離島における高校の存在意義について強く訴えかけました。また、県教育長に対しても直接、議長や弓削高等学校同窓会長らと要望活動を行いました。

そうした中、「市町や地域から学校の存続のために必要と思われる支援が得られる県立学校」であることが、次期再編整備基準の中の統廃合基準に規定する「魅力化推進校」の認定要件になる旨の考えが中間報告で示され、弓削高校の存在価値と離島特例校としての基準を確保していただきました。

しかし、今後の町内の生徒数だけでは、統廃合基準である「入学生20人未満が3年続き、その後も増える見込みがない場合は、募集停止」という要件に当てはまる時代が来ることから生徒の全国募集を本格化することしました。

実際、全国募集・地域みらい留学による学校説明会を実施する中で、留学希望者や保護者の一番の関心事は、「学生寮はありますか」という問いであったことから、本町では、町内唯一の県立高等学校である弓削高等学校の更なる魅力化を図り、全国募集による入学生および保護者が安心して本町での生活を送れるよう、タイミングよく制度拡充された国の交付金等を活用した「学生寮」を整備することとし、議会の承認もいただきました。

現在、学生寮整備工事の進捗状況は順調で令和6年4月1日からの運用開始に向け、弓削高校と共に着々と準備を進めています。

弓削高等学校 学生寮 施設概要



《 寮室 イメージ図 》



《 外観（東側）イメージ図 》

【施設概要】

- 構造 木造2階建て
- 定員 30名（1学年10名程度）
- 寮室 1人部屋〔6畳〕
- その他 食堂、学習室、談話室、厨房
管理人室、宿直室、洗面、浴室
洗濯室、トイレ など



《 食堂 イメージ図 》